

平成 19 年 5 月 31 日
株式会社整理回収機構

< 平成 1 8 年度決算の概要 >

2 期連続の黒字

平成 1 8 年度の債権回収額は 4 , 1 0 7 億円（前年度 6 , 3 0 6 億円）となった。回収額のうち取立等益は 1 , 6 9 6 億円（前年度 2 , 5 8 4 億円）となり、貸倒引当金の戻り益等もあり、預金保険機構への納付金（資本注入業務を除く。）は 1 , 7 7 7 億円（前年度 2 , 3 8 5 億円）を計上し、6 期連続で 1 , 0 0 0 億円を超えた。

この結果、納付金控除後の税引前当期純利益は 3 3 7 億円の黒字となり、前年度（1 1 2 億円の黒字）に引き続き 2 期連続の黒字となった。

これを主要勘定別にみると、特例業務勘定（破綻金融機関等からの譲受債権の管理勘定）及び金融再生法 5 3 条勘定（健全金融機関等からの買取債権の管理勘定）は、取立等益が引続き高水準を維持したことなどから、預金保険機構への納付金は、各々 1 , 2 3 3 億円、5 4 4 億円となった。

住専勘定については、平成 1 1 年度以降貸倒引当金の繰入を主因に赤字基調にあったが、平成 1 2 年度をピークに貸倒引当金繰入額が減少してきているため、税引前当期純利益は 3 1 1 億円の黒字となり、前年度（5 6 億円の黒字）に続いて黒字を計上した。

また、公的支援業務（金融機関における不良債権等の処理を支援する一般のサービサー業務、企業再生業務、信託業務）等で構成されるその他勘定については税引前当期純利益で 2 5 億円の黒字を計上した。